北海道石狩支部総会

平成26年7月5日（土）正午より、札幌グランドホテルに於て、17名の出席を頂き、石狩支部総会を開催致しました。

支部長の挨拶後、議長に川田順一氏が選出されました。

議案は、（1）平成25年度事業報告及び決算、監査報告、（2）26年度事業計画及び予算案、（3）役員改選について審議がなされ、全て原案通り承認されました。

役員改選は現行のまま継続となりましたが、新しく幹事に佐藤翔太氏が選出され、若い活力に期待が持たれます。

事業計画では、恒例の秋レクリエーションについて、昨年のバスツアー参加者より、道内の観光スポットを巡りながら、名物のお菓子を頂いたり、美しい花畑をトロッコにて散策したり、ツアーの抽選会ではおみやげを貰ったりと・・・楽しく有意義だったとの報告が有りました。今年は富良野ワイン祭への参加が予定されております。

又、此度、支部会計監査の森下憲次氏が、校友会本部より、長年の功績を讃えられ、表彰されました。御歳98才を迎えられた大先輩が受賞されました事は、支部にとりまして大喜であり、誇りであります。一同拍手喝采のもと、総会は閉会となりました。その後、懇親会、更なる二次会へと移行し、会員相互の親睦を深める事ができました。

（文責　作田　良子）

香川県支部総会

平成26年度香川県支部総会は、同26年11月8日（土）善通寺市内の善通寺グランドホテルにおいて10名の参加を得て開催しました。

総会では、支部長の挨拶の後、平成25年度の行事・収支の報告と平成26年度行事計画（案）・予算（案）が提示され、原案のとおり承認されました。また、当面の課題として少子高齢社会を踏まえた校友会支部の活性化を図るため、新卒者への声かけを積極的に行うことを申し合わせました。特に、今回の総会には、校友会本部の鈴木勝幹事長にも同席いただき、校友会本部の現状と取組みを拝聴することが出来、今後の支部活動運営にとって大変意義あるものとなりました。

なお、総会終了後は、記念写真の撮影に続き、同一場所で四国ブロック総会が開かれるため、出席会員全員で会場設営に当たり、支部会員の結束力を示すことが出来ました。

（文責　高橋　治子）

長崎県支部総会

5月の全国総会に出席してきました。

今年大きいニュースは、通信教育部が9月完成した新校舎市ヶ谷（事務局も）に移転したこと。往年の校友会員にとっては、ひとしお寂しさと郷愁を感じられることと思います。同地での1週間以上の学習経験のない者にとってはそれほどの感慨はないが、それでも水道橋界隈の日大ほか大學各館の建つ文教気風や賑やかな商店街の光景が、視界から遠ざかったかのような錯覚に襲われる。市ヶ谷の新校舎と導入される新手法にさらなる教育充実や学生数の維持を期待したいと思います。

総会では、長崎支部を率いてこられた前支部長古舘さんに対する校友会会長からの表彰状を受領して帰りました。居宅を訪問してご家族の見守る中手渡しましたが、喜ばしく晴れやかな表情をされていました。

九州ブロック宮崎総会（11月）には、日大校友会から人事異動で日大通信教育部事務局長に就任された高橋さんも出席され、新学部や小学校の開設など日本大学の最近の取り組みを聞くことができました。お忙しい中に総会を開催し、ご案内いただいた久米田支部長にもお世話になりました。

長崎支部総会は10月25日ホテルニュー長崎で行いました。3月に卒業された長崎、佐世保在住のお二人にお祝い申し上げます。末尾ながら校友会に対する高齢男性会員の熱いお志に厚く感謝いたします。

（文責　平田　兼明）

◆◆◆校友だより◆◆◆

浜岡原発問題 ―静岡県民の立場から―

静岡県支部長　石川貞夫

2013年9月8日早朝、ブエノスアイレスで開かれたIOC委員会で2020年夏季オリンピックの東京開催が決定しました。国中歓声を上げた途端中国は早速、我が国の領空に爆撃機を飛ばしましたが。IOC委員会では委員から福島原発の冷却水漏れについて質問があり安倍首相が回答しました。

一方、平成21年3月11日から2年半を経過しても復興は遅々たる感じで、特に福島における原発問題は実質的には、厳しさが増している面があるとの論もあるようです。

冷却水は増える、溜まる、保管場所と受け入れ可能量には限りがある。保管技術や処理方法、漏水の行き先、リスク管理が追いつかない。被災地全体では、汚染処理が進まず除染廃棄物は仮置き場に溢れ新たな置き場所が見つからない。避難者は疲れ、次第に散らばり、把握が難しくなっていく。安住の場所は何処ぞ、という現状です。負の状態に限りがありません。

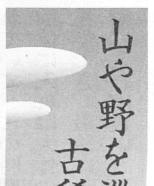
広島・長崎では、原爆投下から68年経っていても、いまだに毎年、原爆症発症者・患者認定される人がおり、犠牲者の名が慰霊碑に納められていきます。

原発は廃炉にしても40年間は、その場にそのままで、手をつけられない、ということです。我が国の原発は、ほとんど海辺という条件の土地にありますが、地震・テロ・事故等で取り返しのつかない悲惨な状態を招くことにならないよう、当面は安全対策を第一とし、原子力によらないで、環境を守ることのできる各種天然資源の利用開発導入と発電施設の建設を1日も早く実現し、原発の最終処理を過ちなく完全実施し、国民が真に安心して暮らせる国になるよう政府が国家の総力を挙げて取り組むことを願うわけです。これにより生まれた技術は世界の幸せにも繋がります。

なお、平成25年7月に牧の原市が行った浜岡原発（現在すべて停止中）への市民意識調査では、A「停止しておいたほうが良い」51.3％（前年比6.1％減）B「安全が確認できれば稼働したほうがよい」23.3％（同比4.8％増）ですが、16歳～19歳の層はAが54.8％、Bが12.9％で、いずれも全体平均より停止を望む意識が高いという結果でした。

山や野を巡り 古稀を迎えて

大坂府支部長　津村博文



御嶽山は昨年の九月が二度目、山頂の神社で御来光を拝んだ。この度の噴火で犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

◇今年70歳になった私は、これまで多くの山や野を巡ってきた。山と海の和歌山で生まれ育った私ですが、生きるためではなく、登ることを楽しみとする「登山」を大学の山岳部で教わって目覚めた。関西の山や岩場で訓練を重ね、日本アルプスなどには本番・合宿として出向いた。

結婚を境に登山を止め、気分転換に始めたのが山麓や野を巡るトレッキングだ。仕事の合間や出張の折りなどに歩き継いだ。大阪の箕麺～東京の高尾山を結ぶ東海道自然歩道、熊野古道は大阪からの紀伊路・中辺路・大辺路・小辺路・伊勢神宮までの伊勢路の参詣道を全路、四国八十八ヶ所巡りは旧道で結願するなど、それぞれを歩き通した。

◇定年退職後も働きながら、長い行程や海外へと積極的に出掛けた。古希を迎えた今年は、七月にアフリカのキリマンジェロ頂上に立ち、翌八月に日本百名山完登を達成、十月には韓国済州島の漢山を極めた。

キリマンジェロは嘗て仲間が挑んだ山で何時かは登りたいと思っていた。日本は今年梅雨明けが遅いとの予報、百名山登山の前にと、急遽友人と出掛けた。アフリカ大陸の最高峰で赤道直下の高度5950メートル登山には山中5日必要。高山病対策の低酸素トレーニングを積んで臨み、無事ピークに立った。登山中に誕生日を迎えたのはたまたまのこと。下山後はアンボセリ国立公園に滞在して、サファリパークを巡り、マサイ族集落を訪問するなど、古稀の半月で「命の洗濯」もできた。

日本百名山は、小説家で登山家の深田久弥が自ら登り著した山100選、私は過去に登り残していた山々にも出掛けた。今回、裏銀座縦走路にある水晶岳と鷲羽岳を極めて完登を果たした。豪雨により槍ヶ岳周辺で犠牲者が出た直後だが、先々の峰が一望できる好天であった。

韓国の最高峰である漢山は友人が天気不順で登頂を断念した山。私は「晴れ男」として彼の再挑戦に同行した。紅葉始まる9時間の行程は好天に恵まれ、リベンジに協力できた。

◇私は通信教育部商学部H六年卒、校友会大阪府支部長を務めて今年で11年、今年度から近畿ブロック長も仰せつかった。校友会活動でお会いした方々には、登山でもお世話になった。東北の百名山登山では、盛岡の小井出芳蔵氏と弘前の間山元喜氏から、登山口送迎、ご当地案内など手厚いご支援を得た。兵庫県支部の岸本卓也氏には、飯豊山縦走に同行頂いた。これらの皆様には御礼申し上げます。

◇私にとって『山野での行動が青春』、これまでエンジョイしてきた。しかし自然相手の行動には予知できない事象が潜む。咄嗟の判断と対応・持久力が要求される。まだまだという気はするが、リフレッシュのために近郊の山を巡るのもいいものだ。と思い始めている。

短歌　愛という奴

本田　まもる

爺一色といえどもわれらのクラス会一年一回楽しく開く

出席も欠席もまた自由なり過ぎ去るならばどうってことなし

お宮にはぶらんこ滑り台立ちおれど在所に児らは一人も居ない

追っかけば逃げ去りゆきて帰らない愛という奴もう日が暮れる

生き金は使っておこう思い切り生きて在る間だ乏しき在る間

首相見つ閣議決定は暴挙ですと言う女史ありて痛快なりき

去る者は日々に疎しと去りゆきて米粒ほどの君となりたり

（昭43・3法卒、相談役、徳島県支部）

町まちの文字（27）

暖簾

東京都・立川市のJR中央線立川駅近くにある菓子店の暖簾。

元禄創業とあり、右から書かれた和菓子を思わせる書体の暖簾は、いつごろのものか。

相談役　小西長之助

日本大学通信教育部長
福田弥夫
日本大学通信教育部事務局
事務局長　髙橋浩
事務局次長　佐藤和彦
事務長　梶一夫
経理長　牧顕
〒102-8005　千代田区九段南四-八-二十八
電話　〇三-五二七五-八九〇一

日本大学校友会　副会長
日本大学通信教育部校友会　会長
白戸忠志
〒183-0046　府中市西原町二-二九-一八
TEL　〇四二-五〇二-〇〇九三
FAX　〇四二-五〇二-〇〇九三

日本大学校友会　常任委員
日本大学校友会　企画委員会委員
日本大学通信教育部校友会　副会長・幹事長
日本大学東京都第七支部　副支部長
日本大学町田桜門会　副会長
鈴木勝
〒195-0062　東京都町田市大蔵町二九四五-二三
電話　〇四二-七三六-〇〇三四
FAX　〇四二-七三六-〇〇三五
携帯　〇九〇-七二七五-八三三三

株式会社日本大学事業部　管理部長
日本大学通信教育部校友会　副会長・事務局長・渉外部長
鈴木孝司
〒350-0158　埼玉県比企郡川島町伊草二三四-一
TEL　〇四九-二九七-三六二八
FAX　〇四九-二九七-三六二八

日本大学校友会　常任委員
日本大学通信教育部校友会　副会長・総務部長
日本大学校友会埼玉県支部　常任幹事
肱岡堅一
〒344-0064　埼玉県春日部市南二-四-一六
電話　〇四八-七三八-七一三〇